

令和6年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

学校の概要

晴明丘

小学校

児童数

114

平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	16.98	21.06	32.98	43.63	46.32	9.16	155.29	19.98	54.32
大阪市	15.78	19.09	32.72	38.56	45.05	9.52	147.96	20.45	51.13
全国	16.01	19.19	33.79	40.66	46.90	9.50	150.42	20.75	52.53
女子	16.84	19.14	39.84	41.84	36.25	9.50	148.98	12.57	56.70
大阪市	15.64	18.06	37.62	36.76	34.65	9.83	139.56	12.71	52.47
全国	15.77	18.16	38.19	38.70	36.59	9.77	143.13	13.15	53.92

結果の概要

本校では全校で体の動きや動きに注意を向けながらラジオ体操に取り組んだり、運動委員会が企画した体力向上のための活動を実施したりした。その結果として、本調査の児童質問項目「運動やスポーツをすることは好きですか」における肯定的な回答をする男子の割合は95%、女子は90%であり、全国平均を男子で2%、女子で4%上回る結果となつた。また、1週間の総運動時間が60分未満の児童の割合は男子で8%、女子で11%となり、全国平均（男子9%、女子16%）と比べて小さい値になっている。一方、実施種目別に見ると、男女で20mシャトルラン、ソフトボール投げにおいて、男子で長座体前屈において全国平均を下回ったものの、他の種目の平均値は、全国平均を上回り、体力合計点においても男女ともに2ポイント程度上回っている。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

【これまでの取り組みの成果】

- ・毎週1回放課後にラジオ体操を行い運動の習慣化に努めた。
- ・体育の学習において、継続してラジオ体操に取り組んだ。
- ・運動委員会が中心になり、パワーアップタイムやなわとびタイムを実施するなど児童が楽しんで体を動かせるような取り組みを工夫した。

成果として、全国ラジオ体操コンクール取組部門において文部科学大臣賞を、技術部門では敢闘賞を受賞した。文部科学大臣賞は、昨年度に続き2年連続の受賞となった。児童にとって運動の楽しさを味わい、運動を続ける良さや大切さを感じることができた。

【今後取り組むべき課題】

これまでの取り組みを今後も継続し、健康に関する意識の高まりを持続させていくよう、活動内容を工夫していく。また、持久力や柔軟性を高める取り組みを工夫していく。